
脱獄

ゲーフィ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

脱獄

【Nコード】

N5119A

【作者名】

グーフィー

【あらすじ】

ささいなことでもつかまってしまった一人の少年の脱獄の一部始終

・
・
・

(前書き)

五作品目になります。

一生懸命かきました。見てくれるとうれしいです。

今、僕は刑務所に入れられている。ここの刑務所は最悪にも程がある。

まずはご飯。あれはひどい。なにがひどいかって言うと、量も見た目もそうだがなにより味がないのだ。

普通なら、変な味だとか味が濃いつかですまじいのだろう。でもこの料理は、味が濃い方がましだ！と思えるくらい味がないのだ。というか、味付けがされてないのだ。

次は掃除。少しサボるとすぐに怒られる。まあそれはいいとして・・・

でもその中でも最も嫌なのは、僕の部屋のことだ。狭いし臭いしほこりっぽいし、もうやば過ぎる。そして、その中でも極め付きなのは、ベッドだ。なんと、毛布が一枚あるだけなのだ。

特に冬。厳しい寒さのなかで毛布いちまいなんて耐えられない。まさに地獄なのだ。そんな生活の中で、僕はここに来て一年の間なんとか生きている。

でも、おかしい。そもそもなんで僕がこんな目にあうんだ？

僕がここに来た理由。それはちょっといたずらしようと思って、市場で食べ物盗んだだけなのに・・・

それなのに、なんで？なんで僕はこんなところに一年間もすんでいるんだ？僕は考えた・・・おかしい・・・もしかしたら僕はもうここから一生出る事ができないかもしれない・・・そして僕は決断した。ここから脱獄しよう。

その夜。早速僕は脱獄の準備にとりかかった。どうやって脱獄するかというと、映画の定番。じめんを掘って脱獄するのだ。

さいわい、僕の部屋は床が土になっているので、掘ることができる。掘るのに使う道具といえば、やっぱり定番の鉄でできたスプーンだ。

僕は、警備員に見つからないようにベッドの下にあなを掘ることにした。僕はスプーンを地面に刺した。「ザクツ」よし！これなら少しずつだけ掘っていける。「ザクツ、ザクツ、ザクツ」

その夜、僕は三十センチくらい掘ることができた。そして僕は深い眠りについた。……

……おい！起きろ。「警備員が僕を起こしに来た。もう朝か。ぜんぜん寝たりないよ……僕は眠い顔を水で洗いサツパリとしたところであのまずい朝食をとった。そして、そこでスプーンを一本くすねた。二本あれば効率よく穴を掘ることができらるだろう。

警備員のうるさい掃除も文句一つ言わずに完璧にこなした。

そして夜、今日手に入れた二本目のスプーンを使って効率よく作業を進めることができた。

こうして僕は少しずつ、でも確実に毎日毎日作業を進めていった。

六十センチ、……八十センチ、……

メートル、……五メートル……十メー

トル……二十メートル……

そして四ヶ月後。ついにトンネルは開いた。やった！！やっと開いたぞ。

後はここからおさらばするだけだ。

脱獄するのは、なるべく早い方がいいだろう。夜があかないうちに脱獄しよう。

僕は完成したばかりのトンネルを通って外の世界にちかずいていく。半分ぐらいまでできたかな？あと少しだ！！「ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ……ん？なんだ？ゆれてるな……そして僕はきずいた。これは地震だ。それと同時にまわりのかべが崩れだす。

速くここからでないと……トンネルはみるみるうちに埋まっていく。

地上までもつすこしだ。……急げ、速く……間一髪のと

ここで、僕は脱出にせいかつした。これで僕はもう自由だ。地震のおかげでトンネルをふさぐこともできたし。ぼくはもうつかまることもないだろう。

久しぶりに家に帰ろうそこで、ほとぼりがさめるまでかくまってもらおう。その後が本当の自由だ。そして僕は、泥まみれの体で走り出した。

(後書き)

どうでしたか??感想をかいてもらえればうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5119a/>

脱獄

2010年11月14日09時36分発行